



CITÉ
INTERNATIONALE DE LA
GASTRONOMIE
& DU VIN

DIJON



展覧会

フランス美食 の世界

ユネスコ登録15周年の軌跡

© Denis Rouvre

【全期】2025/6/28(土) - 7/13(日)

【会場】横浜赤レンガ倉庫
1号館2FスペースA, B

フランス美食 の世界 ユネスコ登録15周年の軌跡

フランス人のガストロノミー(美食術)がユネスコ無形文化遺産に指定されて、早15年が経ちました!

美しくセッティングされたテーブルで、大切な人たちとお祝いの食事を共にし、お料理と飲み物を堪能する。これがフランス人にとってどれほど大切であるかが、このユネスコ登録で認められたのです。

細かい礼儀作法に、有名な絵画作品に描かれた食事シーン、パンとワインとチーズという象徴的な3つの取り合わせ、キッチンやホールでフランス料理が出来上がり、サービスされるまでのプロフェッショナルな所作など、フランスの食文化がもつ様々な表情をご覧ください。

家族で囲む日曜日のランチ、友人と楽しむディナー、四季折々の宴、人生のクライマックスを祝うパーティーなど、ポートレート写真家デニス・ルーヴルの作品を通じて、祝祭の食事の写真をお楽しみください。

フランス人の美食術は、古めかしく時が止まったようなものではなく、絶えず変化し、今もなお活発に実践されていることが、演出された写真とパネルの中で見事に描かれています。

ディジョンの国際ガストロノミー&ワイン都市は、ユネスコに登録された「フランス人の美食術」と「ブルゴーニュのクリマ(ブドウ畑の区画)」の価値観を次世代に語り継ぎ、永続させることに尽力しています。

アンスティチュ・フランセは同展覧会開催の運営および日本語訳を担っております。

